

高知県 PTA 新聞

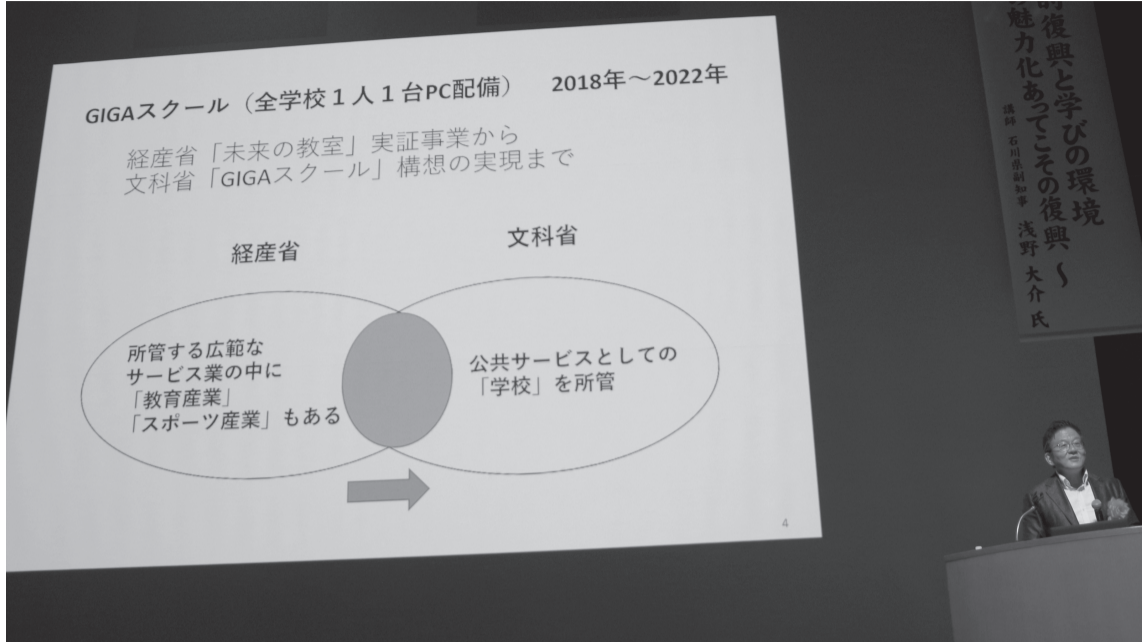
〈発行所〉
高知県小中学校 PTA 連合会
塩見記念青少年プラザ内
高知市小津町6-4
TEL 802-7004
FAX 802-7009
E-mail
ken-p@kochi-pta.com

〈発行責任者〉
北山幸治
広報委員会

「サステナブルな未来づくりのために」

創造と協働を石川から

高知県小中学校 PTA 連合会副会長 長野 秀顕



八月二十二日、二十三日の二日間に石川県で行われた第七十三回日本PTA全国研究大会に参加してまいりました。

主催者によると、去年からの準備の間に一月の震災や九月の豪雨被害で準備等が中断し、このままこのような状態で開催できるのか等と悩みながらも、そのような状況乗り越え今回開催にいたしました。

一日目は各会場での研修会になり、私は第六分科会「質の高い環境を整えるためにPTAができること」に参加しました。この分科会では、野々市市

のPTAの活動報告がありました。

「質の高い教育を受けるにはどうしたらいいか」と問いをたてた時に「そもそも疲労が溜まった状態で質の高い教育ができるのか、

まずは、先生の過酷労働を何とかしなければならぬのではないかと考えたそうです。そこでPTAで話し合

い、放課後は先生方の代わりに、保護者などのボランティアで学習支援教室に取り組み

ことで、先生の過酷労働が少し緩和されたそうです。また、そうす

ることで保護者、地域、子どもたちが繋がり関係性が良くなり、個々の勉強の理解度があがってきたそうです。このように、これから先、持続可能な仕組み作りとなるよう変えていくことが大事であると考えているそうです。

その後、三人の講師の先生によるパネルディスカッションがありました。大事な

こととして、次の三つが示

されました。

一 子どもの声を聴く

子どもの考え方や意見、やりたいこと、さまざまな声を聴く。

二 親と子が楽しめる

親子でいろいろなことを調べ楽しめる環境作りをしていく。(一人一台端末を有効活用し興味があることを調べる、それによりいろいろなことを調べる楽しさを覚える)

三 子どもの味方になろう

いろいろな方が子どもたちに接する。(現在、高齢化であること、高年齢化であること、逆手にとり、地域の方で時間がある方などと接する機会をもっと増やしていく)

以上の三つについて、私も大事なことであり、今この時代、インターネットが多く活用されていて、自分でいろいろなことを調べられる世のなかになり、おとなの多くがスマートフォン等で



いただきました。

閉会式が終わった後、来年度開催地となる奈良県のPRがありました。

この石川大会での感想ですが、今の時代にあった持続可能な仕組みづくりを考える機会になりました。これを、地域、学校、子どもたちにとって質の高い教育環境づくりに活かして行きたいです。この研修での学びを多くの方に伝えられるように頑張っています。

調べものをしていいます。子どもの時から調べる力が身につくことで、おとなになるまでに多くのことを知ることができると思っています。それに伴い調べたことを地域の方や親と一緒に実際に見たり感じたりできるようにすれば、本当に質の高い教育環境になるのではないかと思います。

二日目の全体会では、石川県副知事である浅野大輔さんが「未来の子どものために創造と協働を石川から」と題して記念講演を行いました。浅野氏は、文科省とともに「GIGAスクール構想」による学校デジタル環境整備を推進されました。

全国の子どもたちに一人一台のタブレットが配布された背景やその目的、今後の展望について自身の「水を貯めないう米作り」の体験談を交えながら説明

4コマ漫画 PTAの役員決め

